

系統レベルの点検・評価 に関する概要 (3号機)

平成22年12月9日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所



東京電力

系統機能試験一覧（3号機：全26試験）

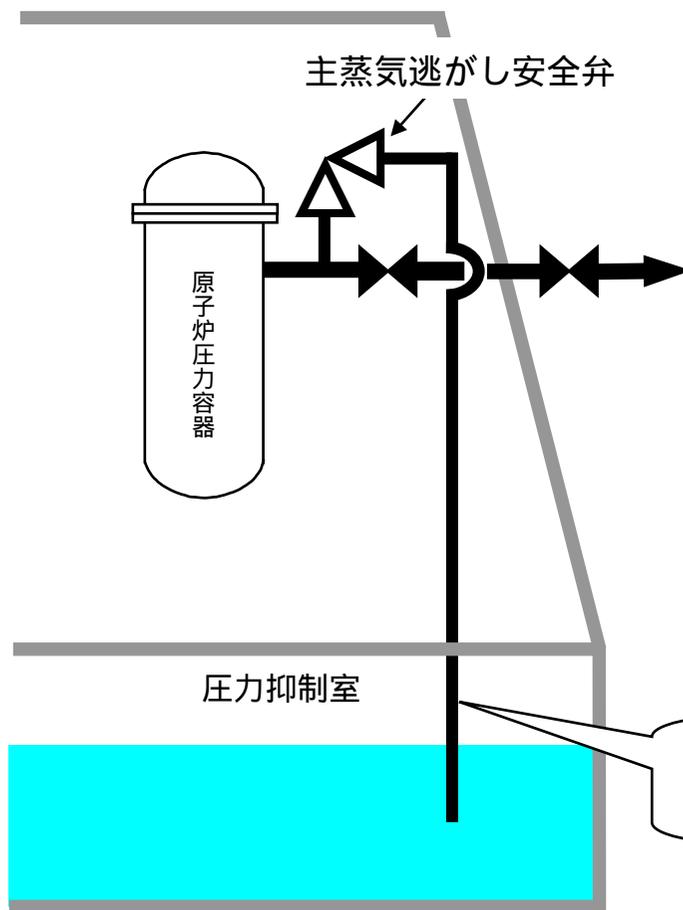
<ul style="list-style-type: none">・原子炉停止余裕試験²・主蒸気隔離弁機能試験・非常用ディーゼル発電機、 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機、 高圧炉心スプレイ系、低圧炉心スプレイ系、 低圧注水系、原子炉補機冷却系機能試験¹・自動減圧系機能試験・タービンバイパス弁機能試験・給水ポンプ機能試験・制御棒駆動系機能試験²・<u>ほう酸水注入系機能試験</u>・<u>原子炉保護系インターロック機能試験</u>^{1、4}・計装用圧縮空気系機能試験・制御棒駆動機構機能試験²・選択制御棒挿入機能試験²・<u>原子炉建屋天井クレーン機能試験</u>	<ul style="list-style-type: none">・<u>非常用ガス処理系機能試験</u>¹・<u>中央制御室非常用循環系機能試験</u>¹・<u>液体廃棄物貯蔵設備・処理設備のインターロック機能試験（その1）</u>・液体廃棄物貯蔵設備・処理設備のインターロック機能試験（その2）・<u>液体廃棄物処理系機能試験</u>・原子炉格納容器漏えい率試験²・原子炉格納容器隔離弁機能試験・可燃性ガス濃度制御系機能試験・原子炉格納容器スプレイ系機能試験・原子炉建屋気密性能試験^{1、5}・<u>非常用ディーゼル発電機定格容量確認試験</u>¹・<u>直流電源系機能試験</u>¹・蒸気タービン性能試験（その2）³
---	---

枠付き は、今回、試験概要についてお知らせするもの。下線はすでにお知らせ済みのもの。

- 1：燃料装荷前に実施する試験
- 2：燃料装荷状態で実施する試験
- 3：蒸気を発生させた後に行う試験を除く
- 4：一部の試験項目は燃料装荷後に実施
- 5：燃料装荷前の確認としては、原子炉建屋気密性能検査（停止後）および非常用ガス処理系機能検査により確認
原子炉格納容器漏えい率試験後に、あらためて原子炉建屋機密性能試験を実施する

系統機能試験概要（12） 【自動減圧系機能試験】

➤ 試験概要



< 本系統の役割【冷やす】 >

冷却材喪失時の際に、高圧炉心スプレイ系等の機能が十分に発揮されず、原子炉の水位を維持することができない場合に、強制的に主蒸気逃がし安全弁を開いて原子炉の炉圧を早く減圧させ、低圧注水系および低圧炉心スプレイ系による注水を促し、炉心の冷却を行うことで燃料の破損を防止する。本系統は、高圧炉心スプレイ系の後備機能を果たす。

< 試験の目的 >

冷却材喪失事故信号を模擬し、自動減圧系機能を装備した主蒸気逃がし安全弁が完全に開くことを確認することで系統の性能が発揮されることを確認する。

：自動減圧機能は、主蒸気逃がし安全弁全15台中7台が備える